

一般財団法人 先端加工機械技術振興協会

2021年度事業計画書(案)

2021年4月1日から2022年3月31日まで

本年度も、運用財産の有効な活用により「高度なものづくりのための先端加工機械技術」に関する研究助成、調査研究、成果普及の各事業を一層充実することを目指して、下記の諸事業を行う。

I 先端加工機械技術に関する研究助成

先端加工機械技術に関する優れた研究に対して行う助成事業を、これまでよりも充実させて実施するよう努める。

II 先端加工機械技術の動向に関する調査研究

今後の我が国のものづくり産業の基盤となる先端加工機械技術の動向調査を実施するとともに、地方公設機関が実施する同様の調査を支援する。特に、関係する企業（主に中小規模の元気な企業）・団体（地方公設機関等）・個人が活性化・強化するために立ち上げた「先端加工研究会」の活動を充実することに努める。

III 研究成果等の普及

1. 機関誌の発行

機関誌「先端加工技術」の自主編集を継続し、年間3回発行して最新技術の動向、研究助成成果等の紹介を行い、普及に努める。

2. 技術講演会の開催

先端加工機械技術の動向調査の結果を踏まえ、東京地区で講演会を開催する。

3. 地域における普及活動の支援

地域への先端加工機械技術の普及を図る地方公設機関の活動を支援する。

IV その他

加工技術に関連する各種団体等との連携を深めることにより、先端加工機械技術のさらなる向上と普及に努める。また、前年度に発行した冊子「四十年の歩み」を広く配布して、当協会の活動の一層の周知に努める。